



- ①.害獣(ケモノ)の生態習性を知る ..... P3.
- ②.いのちを守る ..... P15.
- ③.農林業被害を防ぐ ..... P19.
- ④.阿賀町の補助制度 ..... P25.

害獣の  
被害に  
あわない  
ために！

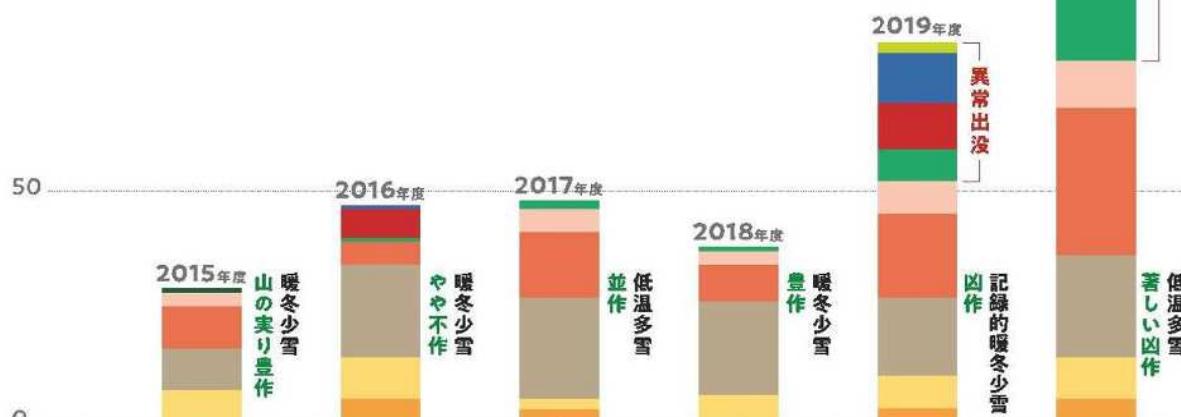
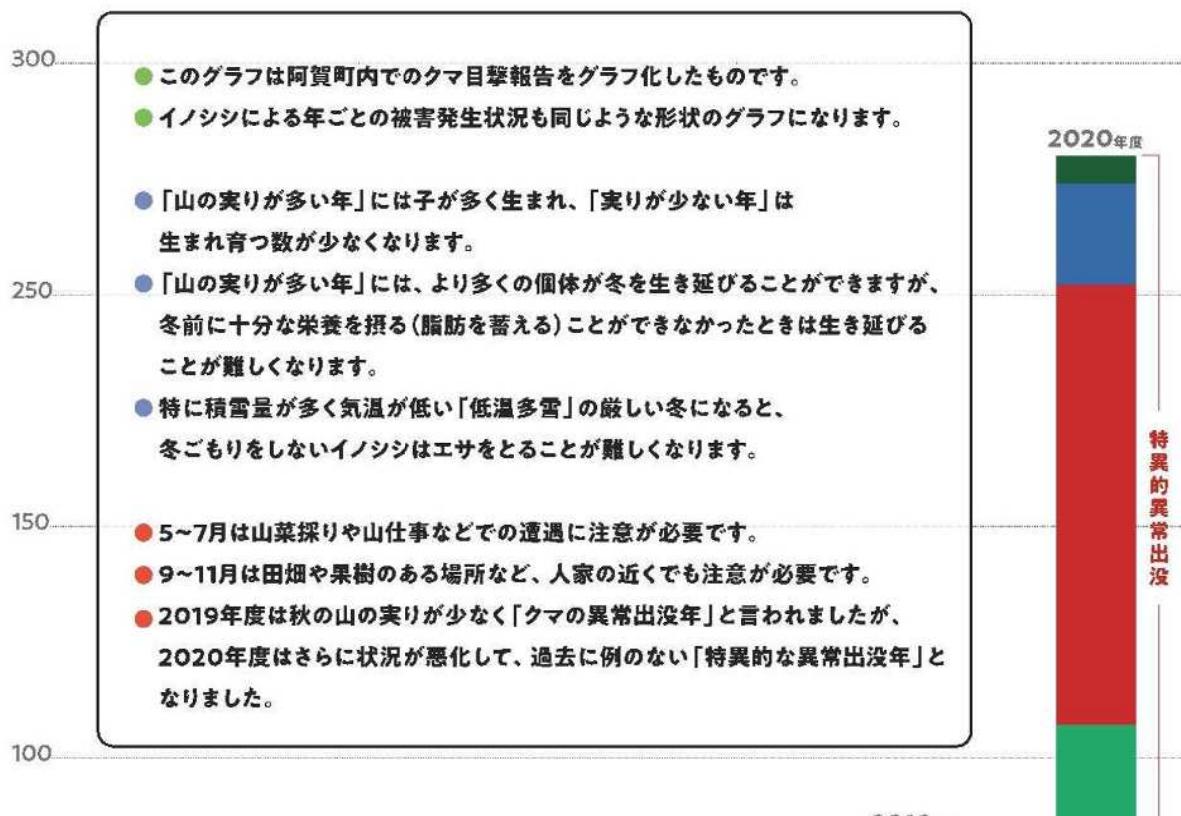
# 害獣被害対策 総合パンフレット

阿賀町

# 阿賀町年度別月毎クマ出没(目撃)グラフ

(2015~2020年度・阿賀町調べ)

■4月 ■5月 ■6月 ■7月 ■8月 ■9月 ■10月 ■11月 ■12月 ■1~3月



	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
1月~3月	1	0	0	0	0	6
12月	0	0	0	0	2	0
11月	0	1	0	0	11	22
10月	0	6	0	0	10	146
9月	1	1	2	1	7	29
8月	3	0	5	3	7	10
7月	9	5	14	8	18	32
6月	9	20	22	20	17	22
5月	7	9	2	6	7	9
4月	0	5	3	0	3	5

# Contents

## 害獣(ケモノ)の被害にあわないために

### ①.害獣(ケモノ)の生態習性を知る

クマ ..... P3.

イノシシ ..... P7.

サル ..... P11.

### ②.いのちを守る

害獣(ケモノ)による人身被害の防止 ..... P15.

もしも害獣(ケモノ)に襲われたら!? ..... P17.

### ③.農林業被害を防ぐ

被害防除「食べさせない」 ..... P19.

環境整備「近づけない」 ..... P21.

狩猟捕獲「数を減らす」 ..... P22.

IT活用 ..... P23.

### ④.阿賀町の補助制度

被害防除に対する補助 ..... P25.

環境整備に対する補助 ..... P25.

狩猟捕獲に対する補助 ..... P25.

# 1. 害獣(ケモノ)の生態習性を知る

## 犬よりも鼻が利く

- 食べ物の匂い、肉や魚の腐りかけた匂い、油脂の匂い、花の匂い、ハチミツの匂いなどのほか、ガソリンやクレオソートなどにも引き寄せられる。



## 食べ物を記憶する力が強い

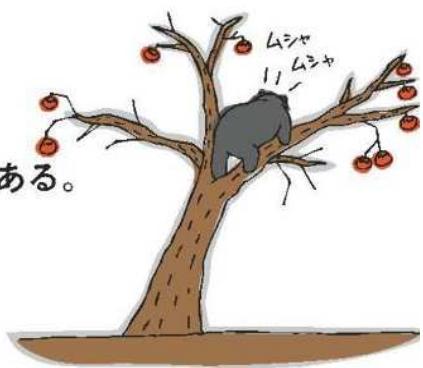
- 美味しいものを食べた場所や時期を忘れず、毎年食べに来る。



## 食欲が激しくて強い

- 食べることに夢中になると、人が近くに来ても気づかないことがある。

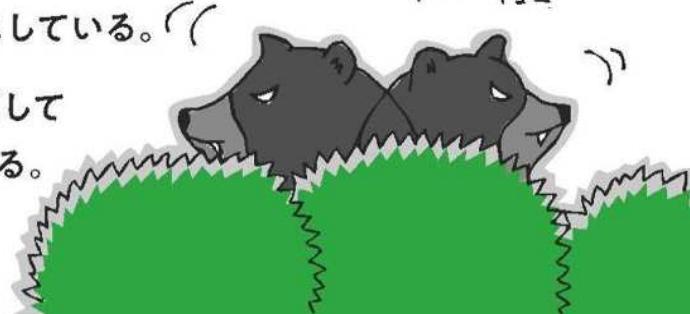
- 食べているところに近づくと「食べ物を横取りされる」と感じて攻撃してくることもある。



## 臆病で用心深い

- 移動するときは、朝夕や夜に河川や森(藪)の中など、人にあわないようにしている。((

- 近い距離で、とつぜん人にであうなどして驚くと反射的に攻撃してくることがある。



# クマ(ツキノワグマ)はこのような動物

## ひとざと で 人里まで出てくることもある

- ふゆ まえ しょう たくわ  
○冬ごもり前には、からだに脂肪を蓄える  
ひつよう なか  
必要があるので、お腹がすくと、  
あと ひとざと で く  
エサを求めて人里まで出て来ることがある。



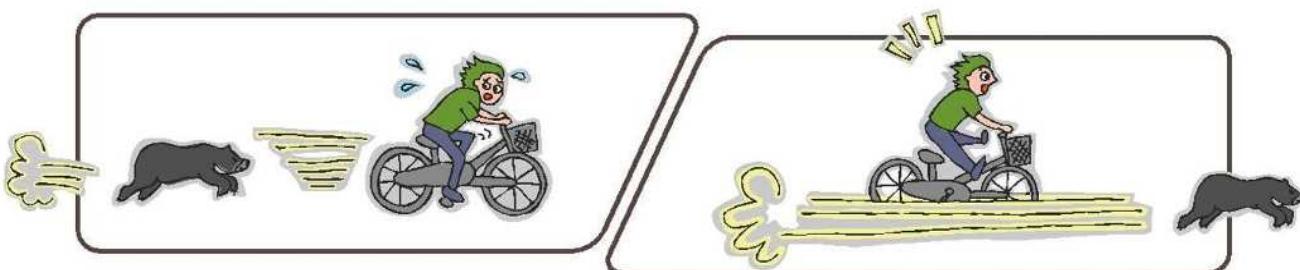
## こづ はは こわ 子連れの母グマは怖い

- こ まも こうげきでき はは  
○子グマを守るために  
イライラと攻撃的になる母グマがいる。



## しゅんびん はや はし 俊敏で速く走れる

- こうげき うご すばや  
○攻撃するときは動きが素早く、  
に い はし お  
逃げて行くものを走って追いかけることがある。



# クマの一年（おもな食べ物と行動）

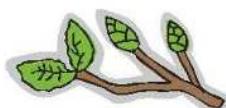
たもの  
食べ物



りょうせいいるい  
カエルなど両生類



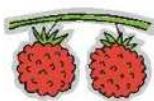
どうぶついがい  
動物遺骸



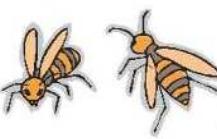
わかば しんめい しんば  
ブナ若葉など新芽新葉



かじつるい  
クワ・野イチゴなど果実類



タケノコ



こんちゅうるい  
ハチ・アリなど昆蟲類



やすい場面や場所

○山菜採り、渓流釣り、山遊び

○朝晩涼しい時間に川や林の近く

行動の特徴

○活動開始期

栄養状態、子連れか単独か、体力の違いなど  
個体差や、残雪量・気温・新芽新葉状況など、  
地理的・気候的地域差がある。

○分散期・発情期

親から離れた単独のクマが、新たな生息域を  
求めて移動。特にオスは、梅雨前後に行動  
範囲が拡大する。子連れのメスにつきまとう  
オスも多い。



やま  
山さ  
行くどぎは  
クマに  
き  
気いつけれ!

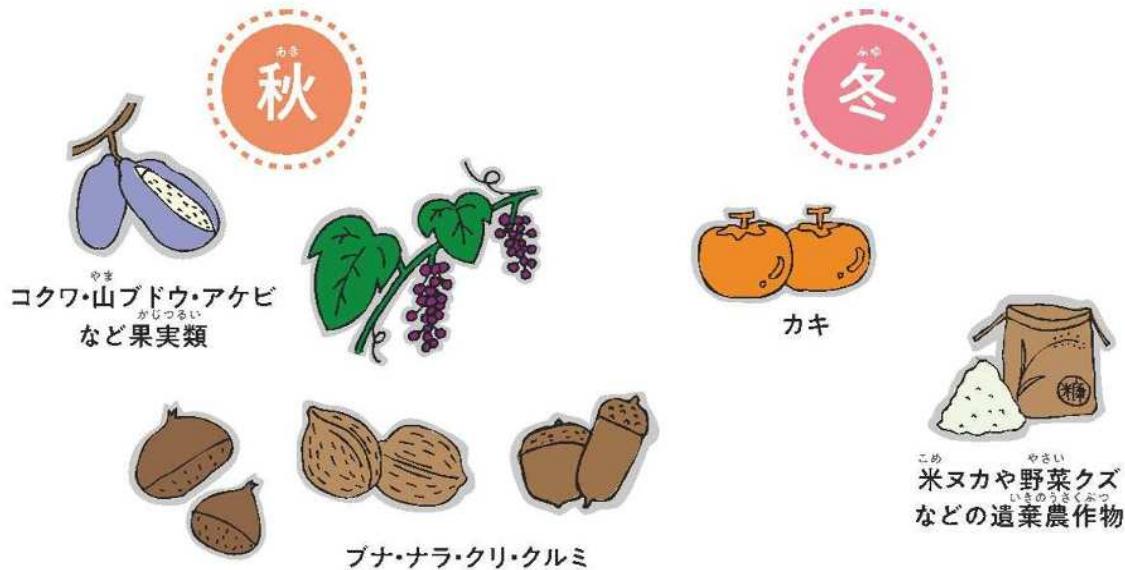
○避暑期

暑さを避け高山または河川付近の風通しの  
良い木陰や水際など冷涼な場所に移動する。



これらの習性は一般的なもので、実際には  
個体差があって予想外の行動をすることがあります！





### ○クルミ・クリ・ブナ・ナラ・カキなど実のなる木の近く

#### ○飽食期

冬籠の準備のため脂肪を蓄積する時期。気温の変化で(日最低気温20度を下回る頃)で、食欲のスイッチが入る。

クリ、ナラ、ブナなど木の実を中心に食べ、木の実が不作の年は、人里までエサを求めて出没するクマや、人里をエサ場や生活の場とする「里グマ」も増えている。

近頃は家の  
近くまで  
来っからなあ



#### ○冬籠期

降雪期(日最低気温5度を下回る頃)に入ると、越冬穴に移動~穴入りするが、降雪や気温・栄養蓄積の状態によって穴入りせず徘徊するクマもいる。



「クマは山にいるもの」という常識が当てはまらない「里近くにすむクマ」もいます!



# イノシシはこのような動物

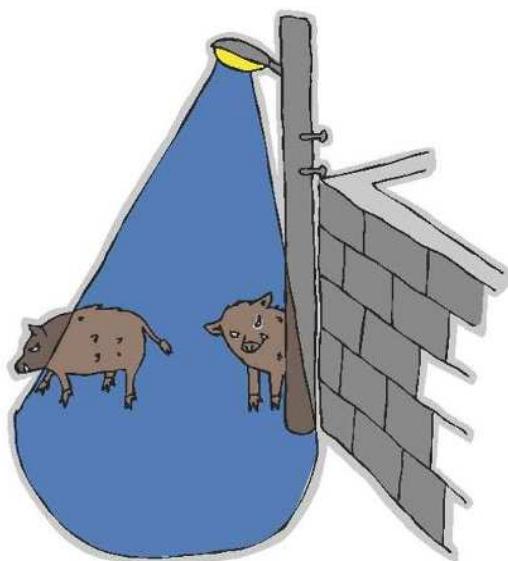
## ちから つよ 力が強い

- 強い鼻で土や大きな石も掘り返し、  
ミミズや昆虫などの他に、  
カエルやヘビや  
草木の根などを  
探して食べる。



## ようじんぶか 用心深い

- 危険を感じなければ明るい時間帯に活動するが、人のいるところでは夜に活動する。



## がくしゅうのうりょく 学習能力が高い

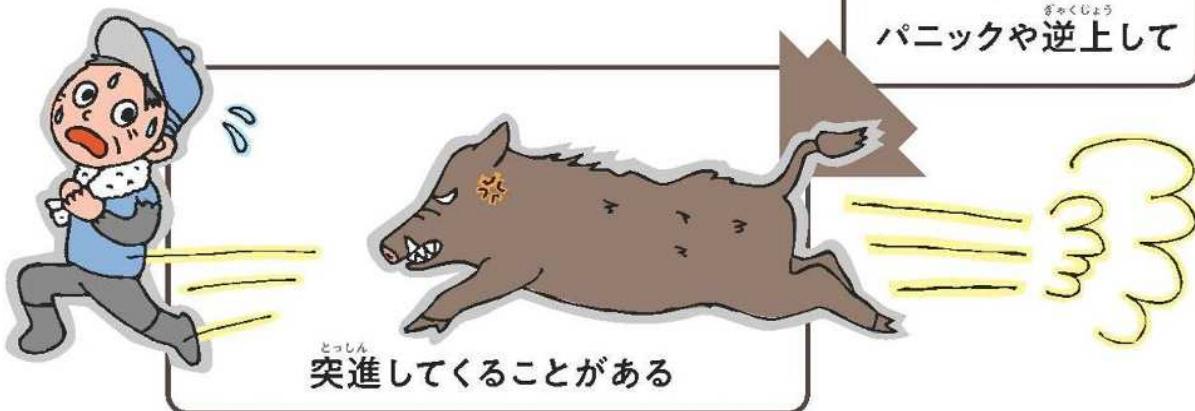
- 一度食べたおいしいもの(栄養のあるもの)を忘れない。
- 仲間が柵をうまく抜けたりするのを見て同じ行動をする。
- ワナなどで危ない経験や怖い思いをすると、次からワナを避ける。

## とうみん 冬眠しない

- 雪がたくさん積もると、歩きやすい沢筋や、除雪された道路に出てくることがある。



## こうげききてき 攻撃的なときもある



## しゅんびん はや はし 俊敏で速く走れる

○時速50km(自動車と同じ速さ)以上。  
ジャンプ力も1メートル!

## け こうもう 毛が剛毛

○太くて密生した固い毛を  
持っているので、毛が電気柵に  
触れても平気(鼻は敏感)。



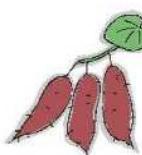
# イノシシの一年（おもな食べ物と行動）

た もの  
食べ物

はる  
春

なつ  
夏

あき  
秋



ミミズなど地中や落葉下の生物  
・クズなど草木の根

稻  
・ナラやクリやカキなど地面に落ちた木の実

じめん  
お  
き  
み

くさき  
ね  
・タケノコ

・畑の作物

・野菜クズ  
・その他

はたけ  
ほ  
・その他

ばめん  
ばしよ  
でいいやすい場面や場所

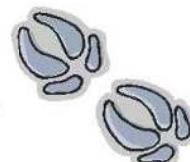
のうさぎよう  
やましごと  
さんさいと  
ちくりん  
あさばん  
うすぐら  
じかん  
のうち  
ちか  
ねんじゅう  
○農作業、山仕事、山菜採り  
○竹林  
○朝晩薄暗い時間、農地の近く(年中)

こうどう  
とくちょう  
行動の特徴

はる  
春

はさき  
ひあ  
春先は日当たりのよい斜面に密生  
したクズ根などを掘りあさる。

なつ  
もり  
なか  
たはた  
ふち  
森の中や田畠の縁でミミズや  
こんちゅう  
昆虫やカエルを探して掘り返す。



あき  
秋

じめん  
お  
き  
み  
せっつきょくてき  
木の実も積極的に食べる。



きはんてきじゅうせい  
基本的習性

●春と秋に子どもを産める。1歳のメスは85%、  
2歳のメスではほとんどが子どもを産める。

ははおや  
こ  
む  
つく  
ぐる  
こうどう  
●母親と子どもで群れを作る。メス群の行動  
範囲(無雪期)は半径1km程度。

●一回の出産で平均4~5頭の子どもを産む。

たんとくこうどう  
とお  
みち  
●オスは単独行動する。通りなれた「ケモノ道」  
を往復してエサ場を移動する。

●泥をからだにすりつける「泥浴び」をよく行う。



これらの習性は一般的なもので、  
実際には個体差があり、予想外の行動をすることがあります！





ゆき した つち なか  
雪の下や土の中の  
しょくぶつ むし  
植物や虫など



そう、  
ちきゅう おんданんか  
地球温暖化による  
だんとう ショウゼツ  
暖冬少雪で、阿賀町も  
あがまち  
イノシシがすごく  
ふえているんだよ!



むかし あがまち  
昔の阿賀町は  
ふか ふか ゆき  
厳しい冬と深い雪が  
あったからイノシシが  
いなかったのね!

○田畑・実のなる木の近く ○日当たりの良い土地

ばんしゅう ふゆ  
○晩秋～冬  
こうせつき む しょくよく おうせい  
降雪期に向けて食欲が旺盛になり、  
なん た  
食べられるものは何でも食べる。

たはた まわ ほ つ  
田畠の周りを掘り尽くすと、  
しんりん じんか まわ  
森林や人家の周りにもエサを  
もど 求めてあらわれる。

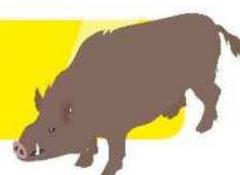
しょとう  
○初冬～  
ゆき おお さむ ういき ようじゅう ちゃうしん  
雪の多い寒い地域では、幼獣を中心に  
ふゆ こ おお はっせい  
冬を越せないイノシシが多く発生する。

せきせつ  
○積雪期  
もど ゆき じき ひろ はんい いどう  
エサを求めて雪のない時期よりも広い範囲を移動する。

したゆき かた こお さが ゆき ふか  
下雪が固まって凍るとエサが探しにくくなり、雪が深い  
じき さわすじ すきばわし じょせつ どうろ しゃつぼつ  
時期には沢筋や杉林や、除雪された道路にも出没する。



やま  
山にエサがあって  
せきせつ おお とし  
積雪が多くない年には、イノシシが爆発的に増えます!



どうぶつ

# サルはこのような動物



ひと  
人が作った  
野菜は  
うめえなあ

## なんでも食べる

- 人が食べるものは、なんでも食べるが辛いものや、香りやアクの強いものをさける。

## 冬眠しない

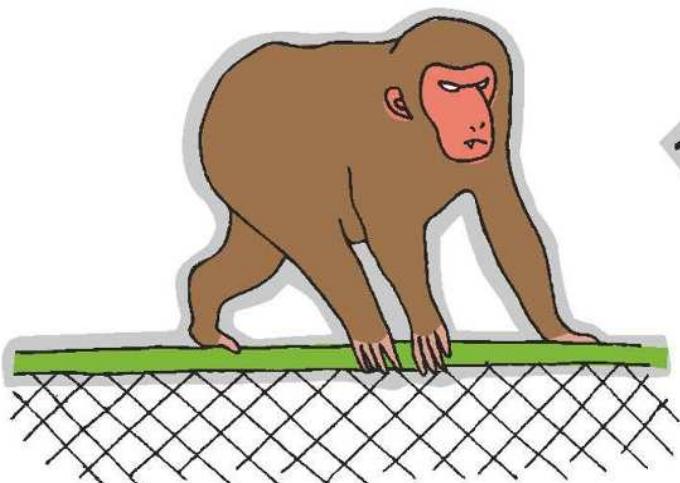
- 食べものを探して移動しながら生活する。

## 活動時間

- 明るい時間に活動する。  
(早朝や夕方に食べ物を求めて活発に移動する)

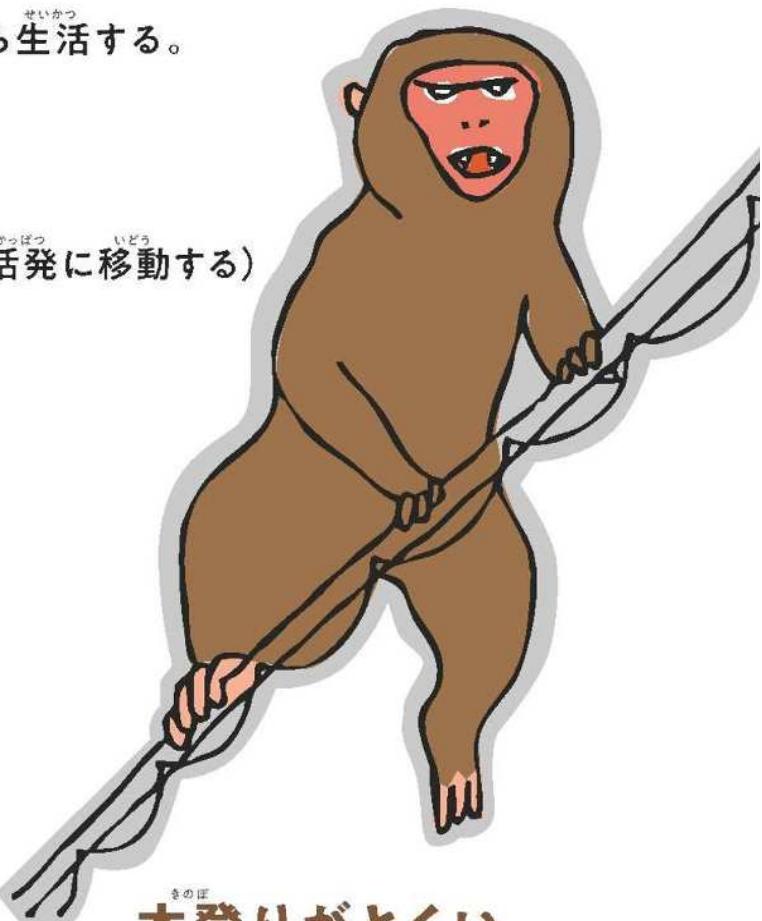
## 手足の器用さ

- 人間と同じように物をつかむことができる両手に加え、足でも物をつかむことができる。



## 木登りがとくい

- 身軽で、電線や屋根をつたって移動もできる。
- ジャンプ力は2メートル!



# サル

害獣被害対策総合パンフレット

## む 群れをつくる

- 母親とメスが子どもを連れて群れをつくり、行動範囲(無雪期)は数キロ~十数キロの範囲にもなる。

- 昼間は見張り役がいて常に周りを警戒している。

オスは単独行動。

またはオスだけの小さな群れをつくる。



## 学習能力が高い

- 一度おぼえた食べものは忘れない。

特においしいと感じた食べ物は、

手に入れるために何度も

しつこく挑戦する。

- 仲間が柵などをうまく抜けたり

するのを見て同じ行動をする。

ワナなど危ない経験をすると、次からワナを避ける。

- サルにおびえる人を見ると「人間は怖くない」と

学習し、威嚇して(おどかして)くることがある。

- 人の服装や車の色や形、

持ち物までおぼえてしまう。

# サルの一年（おもな食べ物と行動）



## あいやすい場面や場所

○農作業、山仕事、山菜採り

○朝昼晩、農地の近く(年中)

## 行動の特徴

### 春

柔らかい新芽や新葉を食べる。

### 春～秋

人が作る農作物は栄養が多いので、  
いつでも食べようと狙っています。

クワなど木の実を食べる。

里のサルと  
山のサルでは  
子どもを産む数が  
違うんだ!

奥山のサル  
6~7歳になると子どもが産めるようになる。  
1頭のメスは1年おきに1頭の子どもを産む。  
子ザル(1年目)の死亡率は50%以上。

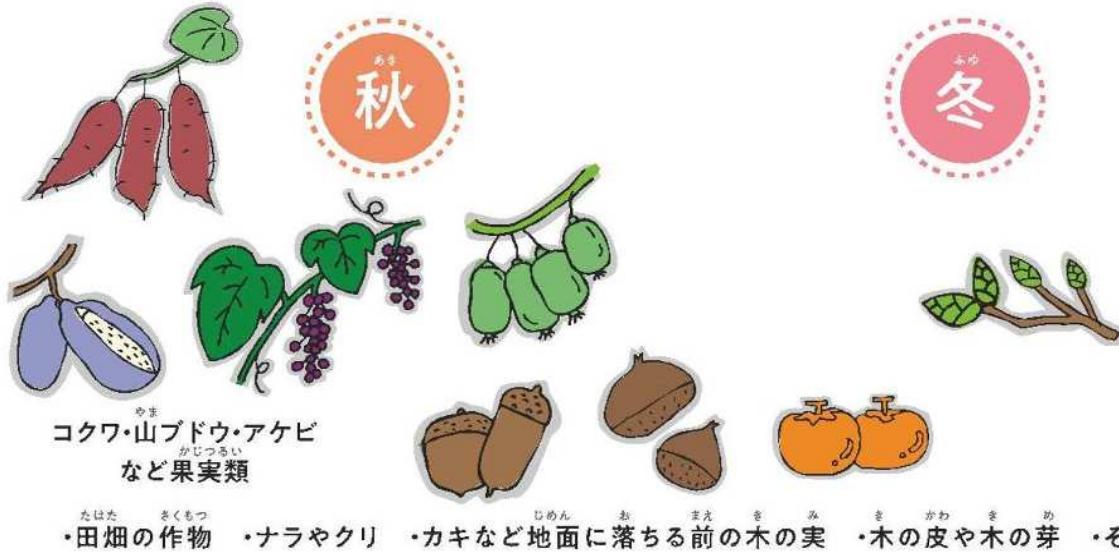


これらの習性は一般的なもので、  
実際には個体差があり、予想外の行動をすることがあります!



# サル

害獣被害対策総合パンフレット



## ○朝日晚、農地の近く(年中)

○秋  
栄養のある農作物などを積極的にねらって食べる。



## ○果樹や実のなる木の近く

○積雪期  
木の芽や皮など、エサを求めて雪のない時期よりも広い範囲を移動する

寒さが厳しいと越冬できない  
サル(子ザルや高齢なサル)が増える。

### 里山のサル

4~5歳になると子どもが産めるようになる。  
1頭のメスが毎年子どもを産む。  
子ザル(1年目)の死亡率は10~20%。



そう、おいしくて  
栄養豊富な農作物を  
食べさせないことが  
重要だね!

出典:羽山伸一「野生動物問題への挑戦」(東京大学出版)

人が作った作物を食べ栄養をつけて  
繁殖力を増している可能性が高いとも言えます!



## 2. いのちを守る

「がいじゅう害獣（ケモノ）にあわない」ことが肝心（かんじん）！



怖くて山や畠（はたけ）さ  
行けねえ…  
なじょしたら  
いいんだ

まずクマや  
イノシシにあわないよう  
習性（しゅうせい）を知ることが  
基本（きほん）です！



### ケモノのいそうなところを避ける

よくケモノが目撃されている場所や、いま  
何を食べているかなど、地元（じもと）に出没する  
ケモノの習性（しゅうせい）をよく知って、活動する時期や  
時間帯や場所をさけて、あわないよう  
気（き）を付ける。

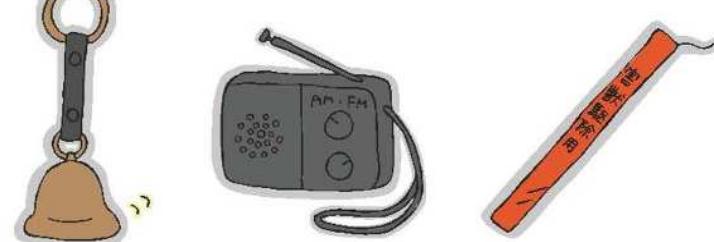
### 自然の中（しぜん）にない音（おと）を出す

山や畠（はたけ）に入るときには、ラジオなどを  
鳴らす。歌をうたう、爆竹（ばくちく）を鳴らす、  
木をたたきながら歩くなど、  
不自然な音（おと）を出す。



### 大きな音（おと）を出す

風や川の音に負けない  
「大きくハッキリとした音」を出す。



# 害獣(ケモノ)による人身被害の防止

それでもクマやイノシシにであつてしまつたら!



解説:「オスやメス」「子連れ」「大きさ」「人に慣れている」「臆病」  
「怒っている」「お腹が空いている」など、獣(ケモノ)の状態は様々だから。

## ケモノとの距離感が大事!

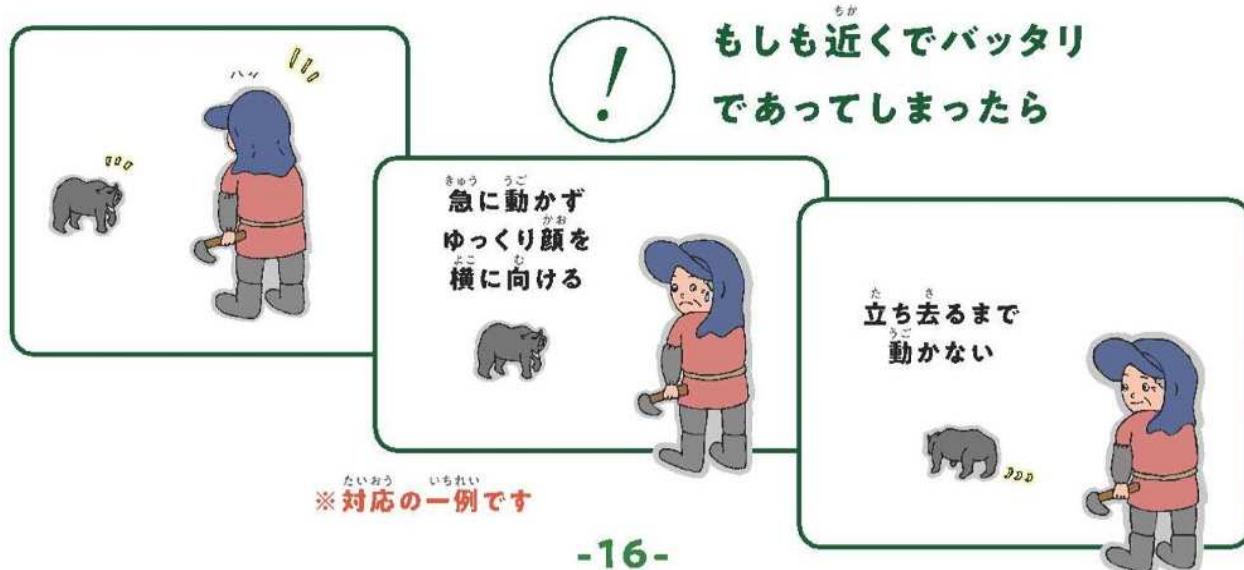
ケモノからどれくらい  
離れているかによって、  
身を守る行動も変わってきます。



運よく、ケモノとじゅうぶんに離れていたら  
(こちらに気づいていない場合など) 静かにその場を離れる。

## 「刺激をしない」「落ち着く」ことが大事です!

なるべく目を合わさない・声を出さない・刺激しない・驚かせない



# もしも害獣(ケモノ)に襲われたら!?

もしも急に襲われたらどうするのが正しい?

「目、首、頭、お腹を守る」



「じっとして動かない」「素早く! または ゆっくりと逃げる」



「ものを投げる」「木に登る」

「反撃する」「大声を出す」



いくつも身を守る方法はあります

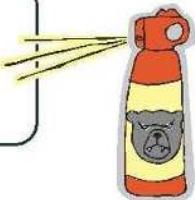


## み　まも　どうぐ 身を守れる「モノや道具」を も　持っているとよい!

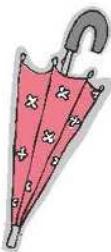


み　まも　きたい  
身を守ることが期待できる  
「モノや道具」の例

ちゅうこうかほしょう  
注:効果を保証するものではありません



◎撃退用スプレー:  
害獣(ケモノ)の口や鼻に  
む　向けて正しく噴射すれば、  
お　追い払える可能性が高い。



△カサ:  
ちか　近づいてくる害獣(ケモノ)に  
む　向かってカサを開くと、  
こうげき　そくど　ゆる  
攻撃の速度を緩めるなど  
こうができ　ばあい  
効果的な場合がある。  
(ビニール傘など透明な素材は不適)



△防犯ブザー:  
適正な距離で使用すれば、  
がいじゅう　こうしゅうは　おお  
害獣(ケモノ)が高周波の大きな  
おと　おどろ　に　かのうせい  
音に驚いて逃げる可能性がある。

## 害獣(ケモノ)に襲われたら

たと  
例えればイノシシは

にげ　ばしよ　かん　つ　すす  
イノシシは逃げ場所がないと感じるとまっすぐに突き進んでくるので、  
たが　のは　すんぜん　すはや　よこ　よ  
できるだけ高いところに登るか、寸前に素早く横に避ける!



たと  
例えればサルは

じぶん　つよ　あいて　む　こわ　どうどう　こうどう  
サルは自分より強そうな相手には向かってこないので、怖がらず堂々と行動する。

おおごえ　だ　お　いし　な　ほう　て　も  
大声を出して追いかける、石を投げる(ふりをする)、棒を手に持つなど、

追い払う姿勢を見せて

にんけん　つよ　がくしょう  
「人間のほうが強い」と学習させる。



たと  
例えればクマは

おそ　せなか　む　はし　に  
クマに襲われたときは、背中を向け走って逃げず、

かく　め　くび　あたま　なか　まも  
ものかげに隠れたり、目や首や頭やお腹を守る!

たいおう　いちれい  
※対応の一例です

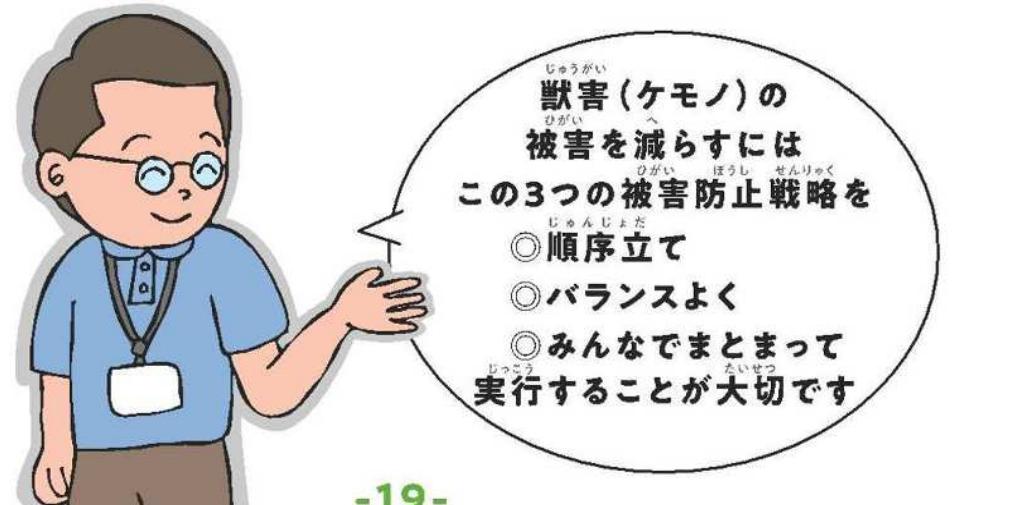
### ③ 農林業被害を防ぐ



① エサを食べさせない

② 人里に近づけない

③ 獣の数を減らす



# 被害防除「食べさせない」

## ①エサ(作物や果樹)を食べさせない

### 作物や果樹の取り残しや放置をしない

田畠や家の外に害獣(ケモノ)のエサになるものを置かない。  
収穫しない果樹は伐採する。



### 作物や果樹を囲う電気柵は効果が確実!

(正しく設置して管理することが重要)

イノシシやサルのほかにクマに対しても電気柵は非常に効果的だが、害獣(ケモノ)の特性に合わせて正しく設置・管理しなければ効果が発揮できない。

#### 【電気柵の失敗例】

##### 1. 柵の高さが足りない

イノシシは1m、サルは2m以上ジャンプできる

##### 2. 地面から電線までの高さが正しくない

地面と電線の隙間は、サル15cm クマ・イノシシ20cm

##### 3. 通電していない

電線が草や水面に触れている、害獣(ケモノ)の足が土に接していないなど電気が通っていないと、電気柵を怖がらずに突破する個体を増やしてしまう

##### 4. 囲っていない農地がある

みんなが囲わないと、いつまでも

害獣(ケモノ)を惹きつけてしまう

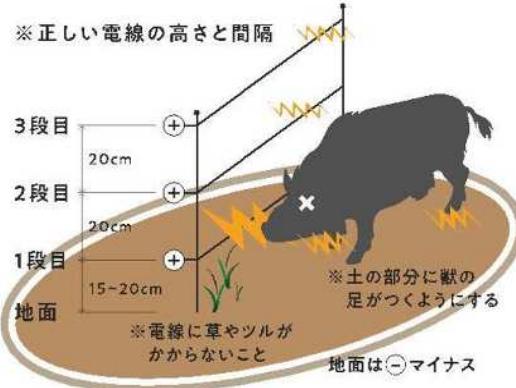
##### 5. 隙間がある

「このくらいなら大丈夫か」と残された隙間を害獣(ケモノ)は見逃さない

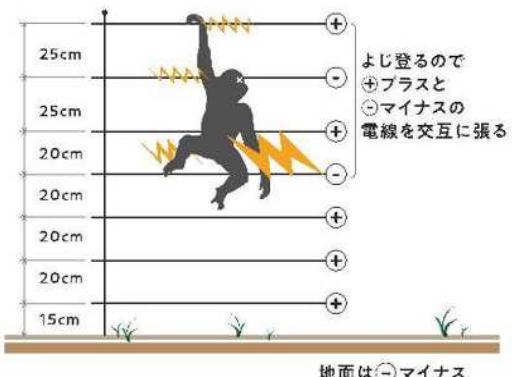
##### 6. 設置する場所が不適当

害獣(ケモノ)が勢いよく突破し(飛び越え)やすい斜面のすぐ下に電気柵を張っている

#### クマ・イノシシ用電気柵の設置例



#### サル用電気柵の設置例

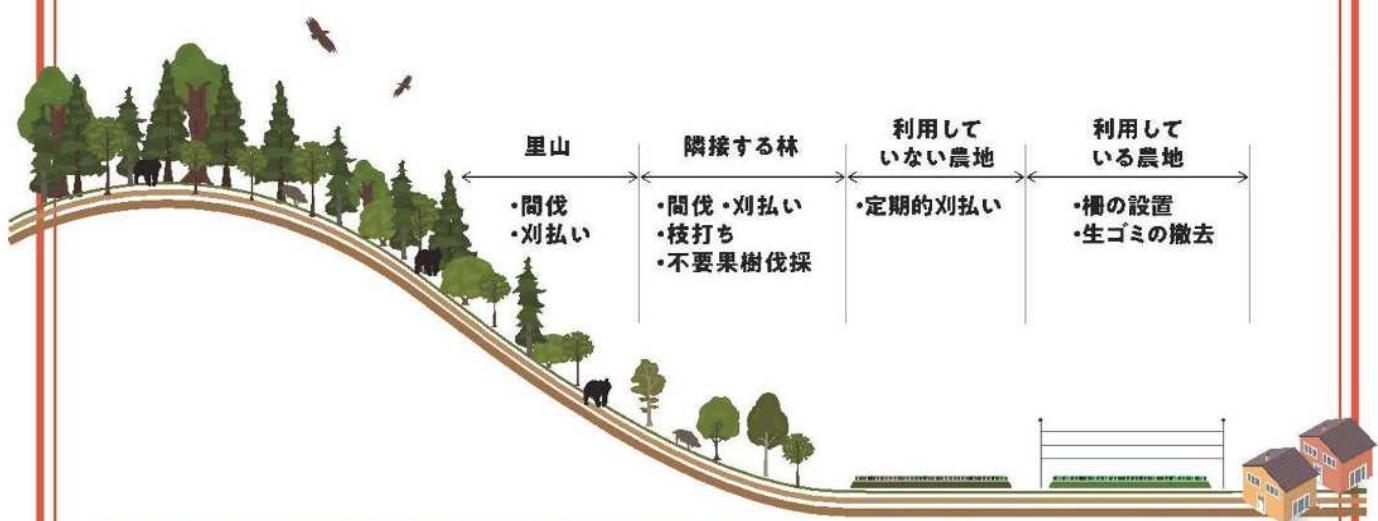


# 環境整備「近づけない」

## ②人里（農地などエサのあるところ）に近づけない

### 隠れ場所や進入路をつくらない

- 1.空家や耕作放棄地の草ヤブは、刈払いをして見通しを良くする
- 2.集落や農地に隣接した林の中の枝打ちや下刈りをして見通しを良くする
- 3.害獣（ケモノ）が集落や農地に侵入してくる場所の木を伐採して緩衝帯をつくる



### サルには正しく効果的な追い払いを行う

- 1.住民の誰もが共同して、みんなで追い払う  
見て見ぬふりをしない。追い払わない人がいると  
「人は怖くない」という学習をしてしまう
- 2.猿が来た時は必ず追い払う  
自分の畑でなくとも追い払うことで効果が上がる
- 3.1匹もいなくなるまで追い払う  
「近寄れない場所」をしっかり学習させる
- 4.いろいろな手段を使って追い払う  
慣れてしまわないよう、大声・花火・エアガンなど  
やり方や道具を変え「人間は強い」  
「人間は怖い」と学習させる



# 狩猟捕獲「数を減らす」

## ③害獣(ケモノ)を捕獲して数を減らす

### 効果的な捕獲を行う

1. 農作物を食べにくる加害個体を選択的に(狙って)捕獲する
2. 被害が起きている場所の状況や加害獣の習性に合わせて効率的に捕獲する



## ④ 阿賀町の有害鳥獣対策補助制度

### 被害防除：農林業者に関する補助

- 電気柵をはじめとする防護柵や防護ネット等の購入補助
- 害獣(ケモノ)の追い払いにかかる用具の購入補助



### 環境整備：地域の活動に関する補助

- 地区ごとに被害対策を調査立案する「集落環境調査」
- 隠れ場所や侵入ルートの伐採や刈払いなどの整備を行う「集落環境整備」
- 行政区に対する果樹等の伐採補助
- 集落や農業団体等への害獣(ケモノ)の追い払いにかかる用具の購入補助
- 大規模農地を防護する電気柵等設置補助

### 狩猟捕獲：狩猟免許・ワナ・獵銃取得に関する補助

- 狩猟免許の取得にかかる経費の補助
- 獵銃所持許可取得にかかる経費の補助
- ワナや銃など獵具の購入補助
- 獵友会員として有害鳥獣駆除実施隊員の活動にかかる経費



補助や事業の対象や内容条件は変わることがあります。

詳しくは、阿賀町役場農林課までお問合せください。

お問合せ先：農林課 有害鳥獣係 TEL:0254-92-5764



## あとがき



太古からヒトは植物や野生動物など「自然の恵み」を、資源として利用しながら命を繋いできましたが、野生動物はときにヒトに害をなす「害獣」として、命や暮らしを脅かす存在でもありました。この冊子でもヒトや農作物に害を与える野生動物を、害獣として「ケモノ」と呼称していますが、本来ヒトも野生動物も「同じ自然環境に暮らす生きもの」であり、生態系を共有形成する「自然の一部」です。



日本一美味しいと言われるお米や、品評会で高い評価を受けているお酒・自然薯・黒毛和牛などの「美味しい高品質な阿賀町の物産」は、もとをたどれば、清涼な水や空気を生み栄養豊富な土を醸す阿賀町の自然環境(生態系)の産物であり、野生動物もその豊かな生態系を形成する重要な要素なのです。



ヒトはムラという共同体を作り、協力しあって周辺の環境に働きかけ、害獣被害を防ぎながら生の営みを続けてきましたが、ヒトの力が弱まって里山や農地が荒廃すると、すぐに草木が繁茂して、自然はもとの姿(野生動物のすみか)に戻ってしまいます。また、地球温暖化による気候の不安定化は、山の実りや冬の厳しさなど、野生動物の棲息環境に大きな影響をおよぼします。つまり、害獣の増減や被害地域の拡大縮小などは、様々な環境要因が複雑に影響しあって変動する自然の現象であり、ヒトがそれをコントロールすることはとても難しいと言えます。



過疎と高齢化が進行している現在、害獣被害対策は「住民」「農林業者」「地域コミュニティ」「学校」「行政」「警察」「消防」「狩猟者団体」「民間企業」など、多様な関係者の情報共有と協力協働を強化することが重要であり、さらに最新の知見やIT技術も駆使しながら、環境負荷やコストにも配慮した、サステナブル(持続可能)な被害防止の取り組みが求められています。



制作著作

阿賀町役場農林課

デザイン・レイアウト編集

アドプロダクションエム

イラスト

Reikoito

- 2021年3月発行 新潟県阿賀町 -

お問合せ先：農林課 有害鳥獣係 TEL:0254-92-5764